

教科	保健体育	科目名	スポーツⅡ	単位数	2	開講対象 年次コース	3年次 選択
使用教科書							
副教材等							
備考（履修条件等）		体育大学やスポーツ系専門学校等を志望し、運動やトレーニングに関する専門的な知識や技能の習得を希望していること。					

1 科目の学習到達目標

球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解し、技能を身につける。また、自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高める。
 トレーニングを通して、身体づくりの本質と筋力の重要性を認識し、自らの身体に向き合う習慣をつけ、継続できるようにする。
 健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツやトレーニングを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 学習の評価（評価の観点及び評価方法）

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	球技の多様な関わり方を理解できたか。球技を継続的に楽しむことができる技能や球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方に関する技能を身に付けることができたか。筋肉の構造や体力の種類、体力の高め方について理解している。
②思考・判断・表現	主体的に思考し判断したことを、言葉や文章及び動作などで表したり、仲間や教師などに筋道を立てて理論的に伝える力を身につけることができたか。トレーニングの原則・方法・プログラムを理解して実践している。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的に取り組もうとする意思を持ち、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高めることができたか。自己の競技力向上や高い体力の獲得のために、自ら進んで行動することができたか。卒業後においてもスポーツやトレーニングとの多様な関わり方を継続し、明るく豊かで活力のある生活を営む力を身に付けることができたか。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「（1）評価の観点」と対応する。）

観点	学習到達度の確認方法	具体的取組および重要度			
		授業	グループ 学習		
①知識・技能	運動の技能レベル、競技・種目の基本的な知識やルールの理解	○	○		
②思考・判断・表現	授業中の様子、個人およびペア・グループでの取り組み（観察で評価）	○	◎		
③主体的に学習に取り組む態度	授業準備、授業へ臨む姿勢、授業の取り組み方、個人の役割分担等	◎	○		

以上を総合的に判断して決定します。（◎はより重視される観点）

3 担当者から

規律ある行動を心掛け、自他の安全に留意しながら意欲的に活動しましょう。また、積極的に仲間と交流を図り、コミュニケーションを深められるようにしましょう。
 これまでに学んだ知識・技能・リーダーシップ・フォロワーシップなどを活かし、より主体的な姿勢で授業に臨み、互いに成長ができるような充実した内容にしてください。

4 年間指導計画

月	単元		授業 時数	項目・学習内容	
	男子	女子		男子	女子
4	オリエンテーション バレーボール トレーニング		1 11	パス・レシーブ サーブ スパイク ゲーム ウエイトトレーニング	
5					
6	バスケットボール トレーニング		12	シュート (ゴール下・レイアップ) ドリブル・パス ウエイトトレーニング	
7					
8	ソフトテニス トレーニング		12	ストローク サーブ ウエイトトレーニング	
9					
10	ソフトボール トレーニング		12	キャッチボール等 バッティング ゲーム ウエイトトレーニング	
11					
12	バドミントン トレーニング		12	サーブ クリア・ドライブ ゲーム ウエイトトレーニング	
1					
2					
3					
備考	60				